

丸山繊維産業

「環境対応」切り口の提案も

海外販路の開拓継続

蚊帳地など粗目織物使用の生活雑貨ブランド「ならつぷ」を展開する丸山繊維産業（奈良県天理市）は、拡販が続く海外市場に向け、見本市などで環境に優しい商品を求める志向と機能性提案を軸としたアピールを継続する。

ら、早期の倍増を目指す方針を示す。

2019年は、独自性、希少性を生かしたキッチン、ライフスタイル関連商材としてのアピールに限らず、天然素材使用である点なども強調し、環境対応関連商材としての提案も強化する。

提案も強化する。

現在、海外市場では主力となる米国に加え、オセアニア圏や香港での販売が堅調に推移する。丸山欽也社長は、「単発の別注、継続的な別注の両方を獲得できている。継続型に単発型を上積みする形で、現状の2500万円前後の売り上げ規模か

海外展示会では、今月に米・シカゴで開催される「インターナショナル・ホーム&ハウスウェア・ショー」への継続出展に加え、ロサンゼルスで開催されるオーガニック、健康関連商材の見本市「ナチュラルプロダクツエキスポ・ウエスト」

にも初参加する。

国内市場向けでは、「住生活雑貨関連という大きなくくりから、宿泊施設

のテーブルで別注の布巾を使う提案など、用途を絞り込んだ提案を強化する」（同社長）。

5/9日に東京・幕張メッセ（千葉市）で開催中の「フーデックス・ジャパン2019」に出展し、プリント柄による別注など、自社対応力の高さを訴求する。